

## 要 旨

試験委託者

環境省

表 題Benzene, 1-chloromethyl-4-nitroのヒメダカ(*Oryzias latipes*)に対する急性毒性試験試験番号

92335

試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドライン No.203「魚類急性毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: Benzene, 1-chloromethyl-4-nitro
- 2) 試験生物: ヒメダカ(*Oryzias latipes*)
- 3) 生物数: 10尾/1試験区(1連につき5尾で1試験区10尾)
- 4) 暴露期間: 96時間
- 5) 暴露方式: 半止水式(2日に1回試験液を交換)
- 6) 試験濃度: 3.00、2.00、1.33、0.889、0.593 mg/L(公比: 1.5)及び対照区
- 7) 連 数: 1試験区につき2連
- 8) 試験液量: 1試験容器(1連)につき2.5 L
- 9) 試験水温: 24±1℃
- 10) 照 明: 室内光、16時間明/8時間暗
- 11) エアレーション: なし
- 12) 試験液中の被験物質の分析: 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)  
(暴露開始時、換水前)

結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度  
被験物質の測定濃度が設定濃度の±20%を超えるものがあったため、各影響濃度の算出には測定濃度(時間加重平均値)を採用した。
- 2) 96時間の半数致死濃度(LC50): 0.612 mg/L (95%信頼限界: 0.488~0.768 mg/L)